

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスSOALA宇美校	公表日	2026年 1月 9日
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	運営基準である広さを確保しております。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	運営基準である管理者、児発管+2名の児童指導員の配置に加え、1名以上の児童指導員を配置、理学療法士、保育士、教員など様々な専門性を有した職員を配置しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	事業所建物内は段差もありますが、段差の大きな所はステップを置いて対応しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	別室も設け児童の情緒面に寄り添った活動場所の区分けを行っております。お掃除ロボットや空気清浄機と合わせて、毎日の清掃にて心地よく過ごせる環境づくりに努めております。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	別室も設け児童の情緒面に寄り添った活動場所の区分けを行っております。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	課題点に目を向け職員間でミーティングを行っています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	保護者等向け評価表アンケートを集計し、ホームページへ掲載させていただいております。また疑問点、質問等いただきましたら真摯に向き合い対応しております。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	月に1回の管理者との面談を行い、日頃から情報共有を行っております。改善点があればチームミーティングを行っております。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	相談所や関係機関からいただくお声を大事に業務の見直しを日頃から行っております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	月1回社内講師による研修、年数回に階層別研修等、学習の機会を設けております。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	5領域に基づいた支援内容の作成しており、インスタ、おたよりにて活動の発信を行っております。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	個別支援計画は半期に一度見直しを行い、その都度面談にてアセスメントを行っております。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	会議の場を設けお子様にとっての最善の利益を考えながら職員全体の共通認識に繋げております。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	職員がいつでも確認できるようファイルに情報をまとめ、定期的に目的を確認することで共通認識を高めております。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	社内共通ツールを用いて記録を残し把握しております。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	ガイドラインを踏まえて必要な支援を5領域別にご提供を行っております。作成後は面談にてアセスメントを行っております。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	毎日の活動内容は職員間で話し合い、月案を5領域の支援内容がバランスよく提供できるよう作成、準備をしております。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	5領域に沿った活動内容のなかで固定化されないよう職員間で話し合いを行っております。パレクール、リズムジャンプなど新たなプログラムも導入し、職員研修の機会を設け、お子様にご提供しております。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1日の支援の活動の中に個別、集団活動どちらもを組み込み支援内容に沿って提供を行っております。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	朝のミーティングで活動内容、活動の流れ、役割分担の確認を行っております。
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	実施後の振り返りを行っております。社内システムやミーティングを通して共通認識を図り、一貫した支援に努めております。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	活動記録は毎日入力し支援計画を作成する際も活用しております。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	相談所の方と連携を図りモニタリング、保護者様へのヒヤリングを実施しております。
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	担当者会議の前には利用児童の活動の様子、状況なども共有し、管理者と主となる指導員が参加しております。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	毎月、支援の様子をまとめた資料を配布しお子様のご様子や課題点に向けた取り組みについて共有しております。

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。 また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	関係機関に月ごとに活動内容をまとめた書類をお渡しし定期的に情報共有を行っております。また、学校や園、療育施設、相談支援事業所、管理者と主となる指導員等でケース会議を行い、一貫した支援のご提供を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	就学時、移行支援として関係機関、保護者様、相談支援事業所の方と情報共有を行っております。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	専門性の高い意見を参考に事業所でも取り入れ連携を図っております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	地域の公共施設を利用し他のこどもと接する機会を設けております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	写真やエピソードを交えて具体的にご様子をお伝えしております。また保護者様からのご意見をお受けし、課題点の見直しやご家族でのアドバイス等を行っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	保護者会として「そらのひろば」を定期的に実施しております。子育ての悩みや意見の交換の場としても活用されております。保護者様同士の連携の機会になればと思っております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	契約時、ご説明させていただいております。	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	アクセスメントを元におこ様、ご家族様にとっての最善の利益を考え支援計画の作成にあたっております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	アクセスメントに基づいた児童発達支援計画の作成しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	必要に応じて相談支援事業所と連携を行い保護者様が安心して子育てに向き合えるようご支援しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	毎月2回「そらのひろば」を通じて、保護者様同士の交流、連携をお手伝いしております。	より多くのご家族様にご参加いただけるようなイベント企画に努めてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	事業所内において苦情窓口の設置をし、市町村の苦情窓口へのご案内も行っています。迅速かつ適切な対応に努めます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	インスタ等のSNSを通じて活動内容を発信しております。また保護者様には別紙で新聞を配布しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	個人情報保護の同意書をもとに慎重かつ丁寧に扱っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	必要に応じて視覚情報の導入を行い意思疎通を図っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	土曜日のイベントの際などに外部のゲストティーチャーを招いております。また、保護者様参加型のイベントにおいては兄弟児のお受入れも行っています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	マニュアルをもとに毎月訓練を実施しております。イベントにも組み込み保護者様への周知も行っております。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	月に1回マニュアルを基に避難訓練、防犯訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	アクセスメントにおいて、服薬やてんかん等の状況を把握しております。職員間でも共通認識を図り、対応できるよう努めています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	該当のお子様に関しては保護者様とも情報共有を行いつアレルギー食品の除去や代用品で対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	年間を通じた安全計画を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	面談の際にご説明することで周知しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	ヒヤリハット記入の際は全体で対策や再発防止に向けた会議を行い記録を保管しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	マニュアルを基に虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、会議の開催や虐待防止研修を実施しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	身体拘束の取り扱いに関しては全職員研修を受け、念頭に入れております。	